

(2)基本構想検討基礎資料について



町の道の駅の計画上での位置付け

- ・ 岩内町総合振興計画(R3～R12)の基本理念「健やかなまちづくり」
- ・ ⇒ 基本構想「地域を支える経済力」
- ・ ⇒ 目標の基本方針「活気あふれるまちづくり」
- ・ ⇒ 施策等の方向性を体系化した
「岩内町産業振興プラン(R7～R16)」
- ・ ⇒ 基本目標3本柱
 - 1. 食と観光
 - 2. 各拠点整備(道の駅の再整備)
 - 3. 周遊・回遊



道の駅再整備事業に向けた計画搭載内容

産業振興プラン



市街地
エリア

観光客・生活圏域を呼び込む

市街地のランドマーク整備

【重点③】道の駅再整備事業

市街地の中心拠点としての道の駅の再整備

立地場所 現在の道の駅周辺の中心市街地



道の駅 いわない

施設規模 基本設計で具体化

主な施設機能 物販スペース、産直スペース、サイネージエリア、トイレ、駐車場、交流・イベント広場、物品保管庫ほか

スケジュール 令和7年度 専門的検討組織設置
令和8年度 基本設計
令和9年度 実施設計
令和10~11年度 着工
令和11~12年度 開業

関係団体等

町、観光協会、商工会議所、商店街連合会、民間企業等

立地適正化計画

- みなとまちの特色を活かす
- 再整備エリアの選定
- 防災機能
- 町民が集い観光客が訪れる
- バスターミナルとの連結

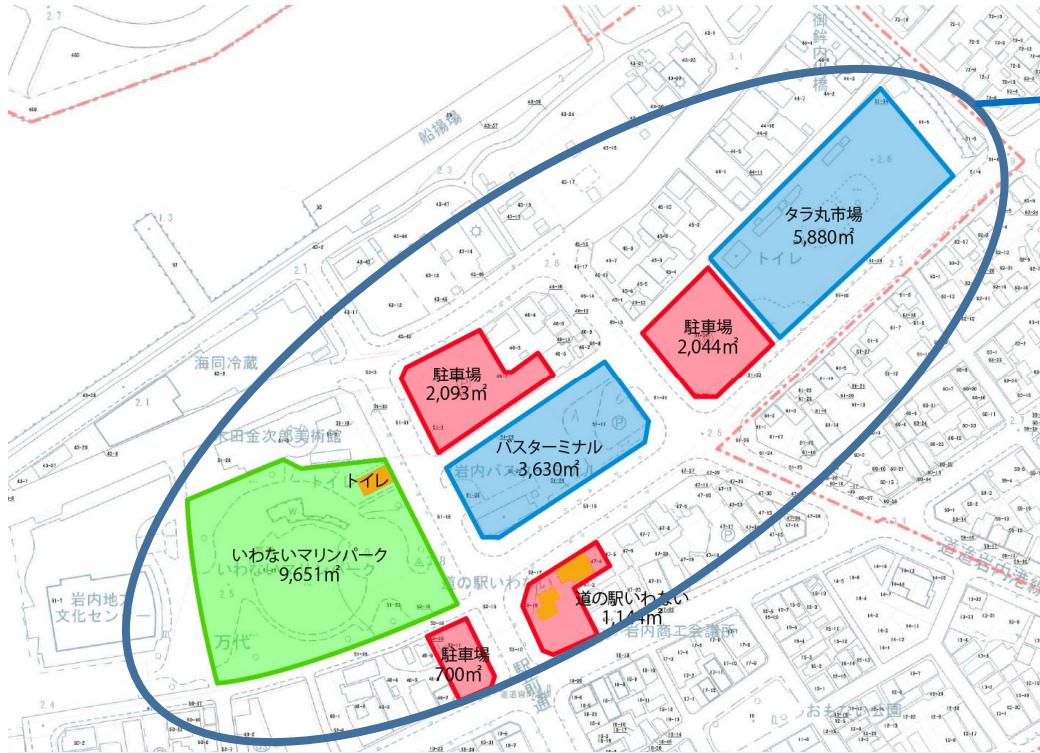
道の駅の周辺の状況と再整備のエリア



岩内町立地適正化計画(R7.3)より
抜粋

再整備のエリア

再整備エリア(拡大)



再整備のエリア

どこまでのエリアとするのか？

規模感は？

道の駅の周辺施設の状況

施設名	建設年	構造	規模	現在の主な機能
1. 道の駅	H4	RC	143. 96m ²	・観光案内 ・小規模物販
道の駅トイレ	H2	RC	105. 08m ²	・トイレ
2. バスターミナル	S62	S	349. 08m ²	・バス待合所
3. タラ丸市場		プレハブ	89. 10m ²	・飲食
タラ丸市場トイレ	H9	木造	60. 30m ²	・トイレ
4. 岩内地方文化センター	H元	SRC一部RC	5772. 83m ²	・大ホール・研修室・調理室 ・工芸室 ・図書室等
5. 木田金次郎美術館	H6	RC	1219. 02m ²	・美術品展示 ・美術品収蔵 ・カフェ

道の駅～基本コンセプト

国土交通省制定

休憩機能

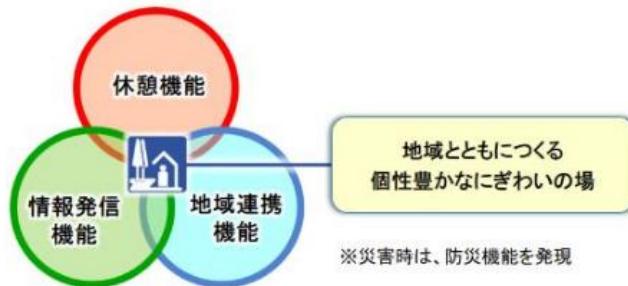
- ・24時間、無料で利用できる駐車場・トイレ

情報発信機能

- ・道路情報、地域の観光情報、緊急医療情報などを提供

地域連携機能

- ・文化教養施設、観光レクリエーション施設などの地域振興施設



防災機能

まちのコンセプト(イメージ)

(施設コンセプト)

町の食や文化、歴史を活かすステーション
～知名度・認知度を向上へ～

(運営コンセプト)

交流や経済活動が広がる活気あふれるス
テーション
～町民が集い、アクティブな経済活動へ～

(機能コンセプト)

市街地のラウンドマークとして人を呼び込
み、周遊・回遊を促進させるステーション
～サイネージによる周遊・回遊へ～

道の駅に期待される機能

期待される機能

1. 駐車場
2. トイレ
3. バスターミナル機能
4. 防災機能
5. 産直・物販スペース
6. イベント機能・物品倉庫
7. 周遊・回遊促進機能
8. 町民が集う機能
9. 知名度・認知度を上げていく機能

道の駅に期待される機能(案)

1. 駐車場

- 現状109台(交番前12台、美術館前50台、うち大型車3台、タラ丸市場47台)
- 道の駅の機能と集客力によって駐車規模が変わる
- EVスタンド(町内EVスタンド:高島旅館・高原ホテル・トヨタ札幌)
- 障害者駐車への配慮(屋根、歩行経路バリアフリー化)
- バイク駐車スペース(利用ニーズ大)
- RVパーク(有料)
- 監視機能(交番)
- イベント時との調整
- 長時間駐車対策

道の駅に期待される機能(案)

2. トイレ

- 24時間対応
- 防犯対策
- 身障者対応
(バリアフリー・オストメイト)
- 高齢者対応(手すり)
- 子供対応(小さい)
- 照明(節電機能)
- 防災時造設機能
- 冬期対策(ロードヒーティング等)



道の駅に期待される機能(案)

3.バスターミナル・二次交通

- バスターミナル機能(中央バス・ニセコバス)
- 公共交通(ノッタライン等)
- タクシーレーン
- 待合所(町民送迎レーン)
- レンタカー・EVトライク
- 自転車置き場



道の駅に期待される機能(案)

4. 防災機能

- 津波浸水エリアへの対応(1m未満)
- 災害対応駐車場～給水車、大型車対応
- 災害用マンホール直結簡易トイレ
(配管システム) 右のイラスト
- 災害時炊き出し場所
- 自家発電設備
- 非常用蓄電池(スマホ充電)



道の駅に期待される機能(案)

5. 産直・物販スペース

- 産直野菜販売スペースと施設効率(道の駅本体と区切る)
- 簡易な建物でも可
- レジが増えないように動線を工夫
- 農業者が在庫確認→搬入(IT化の導入)
- 農業者が搬入しやすい車両導線の確保
- 産直品を販売できない冬期間は倉庫として活用



道の駅に期待される機能(案)

6. イベント機能・物品倉庫・バックヤード

- 営業用備品(屋外テーブル・イス、のぼり等)
- 営業用装飾品
- イベント用(テント・テーブル・イス、ゴミ箱、照明等)
- イベント用装飾品
- イベントしやすい環境づくり
- 屋外ステージ、多目的スペース
- ステージに簡易電源、照明、音響
- キッチンカースペースとの連動
- 軽トラック市機能
- 在庫保管場所(冷涼)、スタッフ休憩場所の確保



道の駅に期待される機能(案)

7. 周遊・回遊促進機能

□情報発信機能(デジタルサイネージ)

□デジタル観光マップとの連動

□SNSによる情報発信

- | | |
|-------------|-------------|
| ・美術館 | ・岩内神社例大祭 |
| ・郷土館 | ・怒涛まつり |
| ・いわない温泉 | ・ホワイトアスパラガス |
| ・円山展望台 | ・ポップ発見の地 |
| ・仏閣 | ・海洋深層水 |
| ・いわないマリンビーチ | |
| ・マリンビュー | |
| ・含翠園 | |

□誘導

- ・道の駅の買物で入場料無料などの仕掛け



道の駅に期待される機能(案)

8. 町民が集う機能

- 町内事業者の商品を販売する(商品納入、催事)
- 事業者が仕掛ける(例:味祭、盆祭など)
- 関係団体が仕掛ける(例:軽トラック市)
- 休憩スペース
- 多目的スペース
- フードコート
- テナント
- 遊具



道の駅に期待される機能(案)

9. 知名度・認知度を上げていく機能

- 歴史・文化
- アスパラガス・ホップなどのストーリー性
- SEA級グルメなどによる食の推進
- デジタルサイネージによる町のPR
- 物販(特産品)によるPR
- 道の駅単体で知名度を上げる仕掛け



岩内町で開催されるイベント

1. 夜桜ライトアップ ゴールデンウィーク
2. 岩内神社例大祭 7月7~9日
3. 怒涛祭り(8月第1週)
4. 宿花火(8月10日)
5. 軽トラ市 2回/年
6. あきんど市 1回/月
7. 道の駅 味祭 4から6回/年
8. 海洋深層水まつり 9月
9. 木田金次郎美術館 春・秋のナイト・オープン～講和と軽食
10. はしご酒 町内スナックを時間内に周遊、約1000人参加
11. 自衛隊吹奏楽団公演 無料・不定期
12. 札幌交響楽団公演 無料・不定期
13. お笑い公演(不定期)
14. 歌謡ショー(不定期)
15. 日ハム観戦ツアー(エスコンフィールド)
16. 郷土館 バスツアー2回/年
17. 含翠園 観桜会、盆栽展、月見
18. ゼロカーボンフェス 無料
19. 岩内シネマクラブ(無料)
20. 秋のタラ丸満腹マーケット キッチンカー集合



道の駅運営上の懸念事項

- ◆ 売り上げのばらつき（季節・曜日でのばらつき）
- ◆ 交通量の変化（高速道路・新道の影響）
- ◆ 道の駅駐車場と町民用駐車場との区別
- ◆ 出荷者の確保（産直野菜）
- ◆ 運営形態

岩内町 道の駅基本構想基礎資料

終

R7.10.28